

株式会社シーエーエー

中古車オークション業界のリーダーであり続けるために 先端技術を採用したオート・オークション応札システムを構築



オート・オークションが中古車流通の主流となる中で、株式会社シーエーエー（以下、CAA）は、国内有数規模のオークション会場を全国4カ所に展開し、約50万台の年間出品台数を誇っています。また、インターネットを利用したネット・オークションの運営にも意欲的に取り組み、多くの会員の方々から高い評価を得ています。しかしながら、市場の成熟化に伴って競争は激化する一方です。そこで同社では次の一手を求め、グリッド配信技術やエージェント技術などの先端テクノロジーと、IBM BladeCenter® IBM Anyplace Kioskなどの優れたハードウェアを組み合わせたIBM統合オークション・ソリューションを導入しました。このソリューションによる新オークション・システムを構築し、今まで抱えていた課題を解決するとともに、コスト削減や会員様の満足度向上も同時に実現しました。今後も、出品／会員数の拡大、売り上げ増加に向けて、さらなる取り組みを進めていく予定です。

中古車オークション業界の競争が 厳しさを増す中で

CAAは1988年にオークション会場（現在のCAA中部会場）を豊田市に開設。良質車にこだわる事業方針の下で、全国有数の規模と高成約を誇るオート・オークション会場として成長を続け、今日では、全国4会場の年間出品台数は50万台を越すまでになっています。その一方で、市場の成熟化に伴う競争の激化や、ネット・オークションへの需要シフトが進み、新たな課題が浮き彫りになってきました。より高度なサービスを提供し、参加者の方々の利便性を向上させ、オークションの活性化を図っていかなければ、競争に勝ち残るのは難しい状況です。特に最近ではネット・オークションの普及により、オークション会場間の競争のみならず、中古車オークション業界全体での競争が激化しています。オート・オークション・ビジネスは、市場のIT化、オープン化を受けて、今まで以上に情報の質とスピードが求められているのです。

オークション会場のリニューアルに 合わせて、新システムの導入を決断

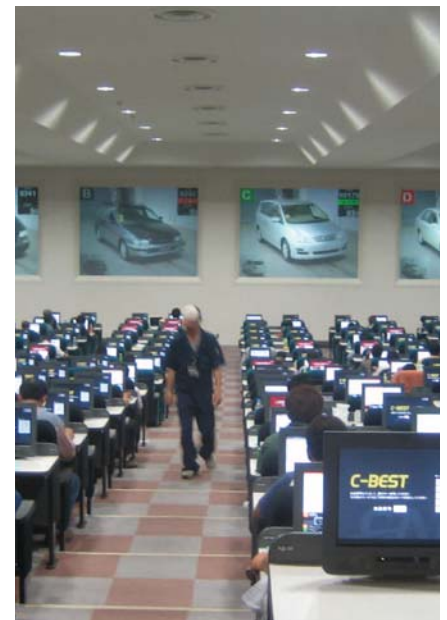
CAAは、激化する競争に勝ち残るために、敷地面積14万平方メートル、最大収容能力

6,500台を誇る新オークション会場を中部会場に建設することを決断。同時に、先進テクノロジーを活用した新オークション・システムを構築することにしました。ネットワーク経由での落札台数が全体の5割近くを占めていることから、ネット・オークション対応のさらなる強化を含め、オークション・システムの刷新によるサービスの充実化が欠かせないと判断したからです。新システムの構築に当たって、同社は日本アイ・ビー・エム株式会社（以下、日本IBM）のIBM統合オークション・ソリューションを採用しました。最新の技術を用いることで、会員様の満足度向上とコスト削減が同時に期待できたからです。こうして、2005年9月には新システムの構築プロジェクトがスタートしました。

今後も業界を リードしていくために

IBM統合オークション・ソリューションは、インターネットでも利用されているIPプロトコルを採用。標準化を図るとともに、エージェント技術による高度なサービスの提供や、グリッド配信技術によるネットワーク環境の高速化・安定化、キオスク端末／ICカードの導入による使い勝手の向上や不正防止を実現しています。CAAが日本IBMに期待したのは、テクノロジーの先進性ばかりではありません。システム構築に取り組む姿勢についても、CAA 代表取締役専務 長崎 豊氏

は高く評価しています。「新システム構築に当たり、日本IBMさんには本当にさまざまなリクエストを出ささせていただきました。『それはできません』という返事になりそうな要求についても、一つ一つ真摯に聞いてもらうことができ、CAAと日本IBMが共同で新しいシステムを構築しているという一体感が得られ、とても満足しています」こうして完成した新システムは、2006年5月に新システムでのサービスがスタートし、さらに11月にはインターネット・リアル応札も始まりました。



会員様満足度向上と 業務の効率化を同時に実現

ネットワークには、日本IBMのグリッド配信技術であるIBM Peer-to-Group Media Broadcast (IBM P2G)を採用。IBMP2Gは、LAN環境下の複数のクライアントがデータ・パケットを分担受信することで、ネットワーク・トラフィックを大幅に削減することができます。中部新オークション会場では大規模回線を敷設することなく、約1,150席の応札端末にオークション・データを一斉送信することが可能になりました。IBM BladeCenterを採用したオークション用サーバーにはエージェント技術が導入され、事前に希望車両の入札価格を指定しておく、参加者に代わってエージェントがオークションの状況に合わせて応札を行い、従来の機械的な不在応札とは異なる自然な応札を実現しています。また、自席の応札端末であるIBM Anyplace Kioskのタッチパネルを操作して、オークション画面と情報検索の画面を自由に切り替え、相場検索や車種別検索、落札車両検索などの多様な検索が可能であり、必要な情報を確実かつスピーディに集めることができます。また、商談申し込みや不在申し込みも応札端末から行うことが可能です。応札のために特に開発された押しボタンは、レスポンスの速さと相まって「オークションに



株式会社シーエーエー
中部会場 営業グループ
グループリーダー

杉浦 弘将氏

集中できる」「応札のタイミングを逃さない」と多くのユーザー様からご好評をいただいています。また、非接触型ICカードによるスムーズな受付、セキュリティの向上、出品準備作業の削減など、主催者側の作業も大幅に効率化されました。

さらなる ネットワーク化を推進

CAA 代表取締役社長 鈴木 章郎氏は、今回の取り組みを次のように総括します。「今後とも当社が業界をリードしていくには、新たな取り組みが必要だと感じていました。今回、日本IBMさんの協力を得て、私たちの要望を最大限に取り入れていただくことができました。新システムに移行したことで、オークション会場の応札端末から高機能な検索や多様な申し込みが可能になり、会員様の利便性を飛躍的に高めることができました。加えて、会場外からもインターネット経由でリアルタイムに応札が可能なWebリアルを実現したことで、オークション会場に足を運ばない会



株式会社シーエーエー
中部会場 運営チーム
チームリーダー

太田 宏幸氏

員様にも大変な好評をいただいています。今後も、日本IBMさんとパートナーシップを組むことによりネットワーク化を推し進め、エージェント技術の活用など、さらなる機能拡張と会員様の満足度向上に取り組んでいきたいと考えています」

株式会社シーエーエー

代表取締役社長:鈴木 章郎
設立:1987年8月1日
事業内容:中古車オート・オークション会場の運営
所在地:〒473-0907 愛知県豊田市竜神町東名32番地
会場:中部会場・東京会場・岐阜会場・東北会場
売上高:連結 66億5100万円 (2006年7月期)
資本金:4900万円
従業員数:166名 (2006年7月現在)
会員数:16,500社 (2006年7月現在)

ソフトウェア:

WebSphere Application Server
WebSphere MQ
DB2 UDB Workgroup Server Unlimited Edition
Tivoli Storage Manager

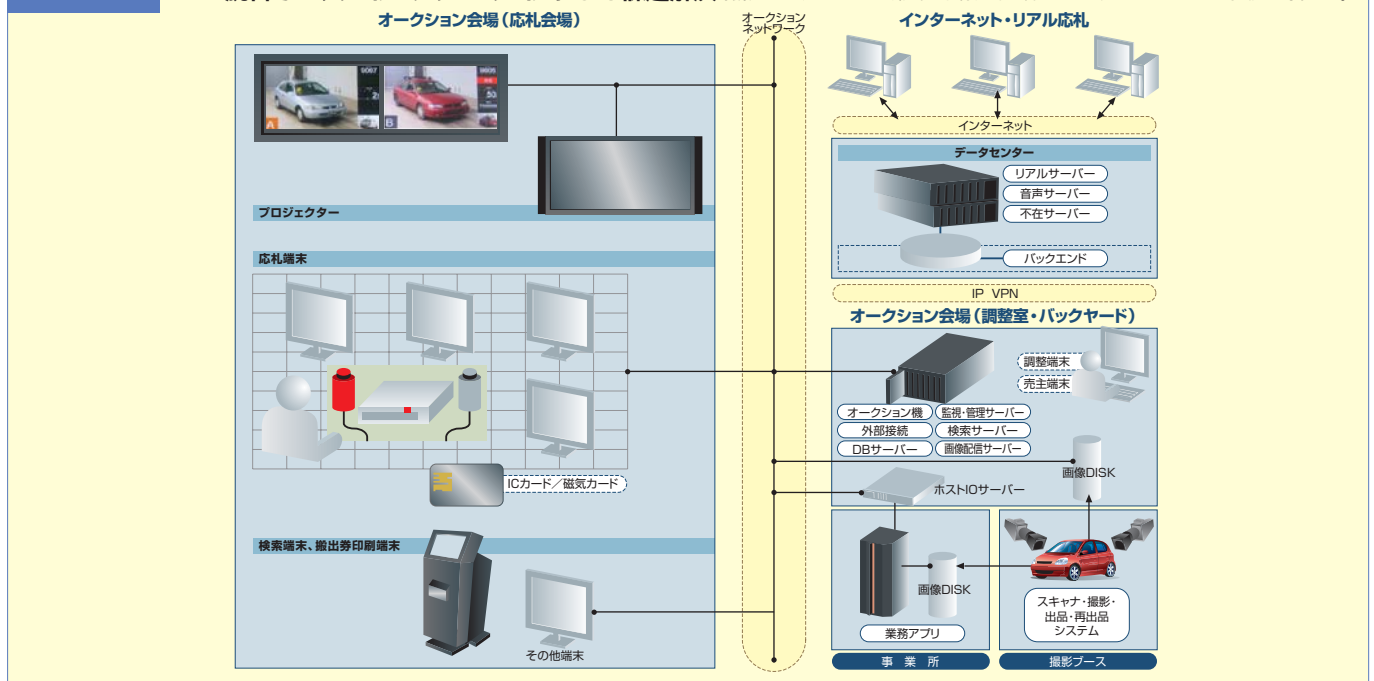
ハードウェア:

IBM BladeCenter
IBM System x™
IBM System Storage
IBM Anyplace Kiosk

システムの概要

IBM統合オークション・ソリューションによる課題解決

撮影・出品、オークション、検索・印刷、監視・管理まで一貫したシステムのご提供が可能です。



●IBMオートオークション・ソリューション
ibm.com/grid/jp/AutoAuction/
商標

IBM, IBMロゴ, BladeCenter, System x, X-Architecture, xSeriesおよびXtended Design ArchitectureはIBM Corporationの商標。
Intel, Intel Inside, Intel Xeon, PentiumはIntel Corporationまたは子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12
07-06 Printed in Japan

●掲載された情報は2007年6月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。●すべての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。お客様の環境、その他の要因によって異なります。●製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。